

普及活動情勢報告（令和7年1月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

作業性の改善と高品質安定生産を目指して ～施設土佐文旦のせん定講習会の開催～



令和6年12月18日、コロナ禍以降初めてJA高知県土佐市ハウス土佐文旦部会のせん定講習会が開催されました。農業改良普及課は、せん定理論を説明した後、園主の改善したい点など今年のせん定のテーマを設定してもらい、テーマに則したせん定を実演しました。

参加者は8名と少なかったものの、20～30代の若い後継者が50%を占め、動作一つ一つを注視しながら、疑問点を即座に質問するなど、活気のある講習会となりました。

令和6年産のハウス土佐文旦は、生産量・品質ともに最高のできえでしたが、農業改良普及課では、今後も継続できるように支援します。

ピーマン農家ではたらしませんか！ ～ピーマン収穫体験会の開催～



令和6年12月26日、ピーマン収穫体験会をJA、土佐市、農業改良普及課で協力して開催し、3人が収穫作業を体験しました。

農業改良普及課は、収穫果実の見極め方やハサミを使う際の注意点などをアドバイスしながら、参加者の作業をサポートしました。参加者からは、「最初、樹を傷つけてしまわないかと不安だったが、思ったより簡単だった」「収穫作業は楽しい」といった声を聞くことができました。

今回は、残念ながらピーマン農家とのマッチングには至りませんでした。農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して、新たな労働力の掘り起こしを支援します。

農業の楽しさを知ってもらいたい！ ～中学生が企画した土佐文旦収穫体験会の開催～



令和6年12月27日、小学生を対象とした土佐文旦の収穫体験会が土佐市鳴川の文旦農家のほ場で開催され、親子3組8人の参加がありました。

このイベントは、6月に国際中学校の3年生3人が「土佐市の小学生に農業の楽しさを知り、農業に関心を持ってもらいたい」と、農業改良普及課に相談したことから始まりました。農業改良普及課は、この想いを実現するため中学生、生産者、JA、土佐市と協力して、ほ場の選定や農家との調整を行いました。

人集めや当日の進行は中学生が行いました。参加した小学生からは「楽しかった」「ちょっとしんどかった」といった感想があり、企画した中学生たちからは、実現できた喜びと達成感が感じ取れました。こうした取組の輪が担い手育成に繋がっていったらと思います。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して、担い手育成の取組を支援します。

イタドリピクルス、いよいよ販売です！
～明るい柳野を創る会加工班の取組～



令和6年1月6日、いの町吾北にある道の駅「633 美の里」で、明るい柳野を創る会加工班4名と関係機関3名がイタドリピクルスの販売開始手続きと陳列を行いました。農業改良普及課は、イタドリピクルスの表示及び商品のチェックと今後の販売方法について加工班と打合せました。

参加者からは、「やっと販売することができうれしい」「販売状況を確認していきたい」等感想や意見が出されました。

また以前、ピクルスの食べ方提案を検討し、その結果をピクルスのパンフレットに掲載できたことで販売意欲も高まりました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携して、加工班がイタドリピクルスを前向きに販売していくよう支援します。